

こおりまち

議会だより

令和4年春号 VOL.128



震度 6 弱がまたも！... ②

令和 4 年度当初予算
56億5,100万円を可決... ⑥

除雪事業等に関して
(一般質問 7 名登壇) ⑭

議会モニターからの意見 ⑳

伊達崎小学校、北側の外壁に
大きな亀裂がいくつも入った
現場の視察

3月定例会

会期：3月1日～17日(17日間)

提出議案 36件 審議採決

専決承認1件、条例制定1件、条例改正6件、協約締結1件、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算5件、令和4年度一般会計及び特別会計予算6件、その他4件、半田財産区管理及び特別会計等の設置条例、陳情2件、発委3件

「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」

☆重点プロジェクト(令和4年度～18年度)

- 1 「21世紀の追分」推進プロジェクト
- 2 「安全安心のまち」推進プロジェクト
- 3 「環境に優しいまち」推進プロジェクト
- 4 「健康で生き生きと暮らせるまち」推進プロジェクト
- 5 「桑折っ子」育成推進プロジェクト
- 6 「心地いいまち」推進プロジェクト



令和4年度 施政方針

- 1 「活力と賑わいに満ちたまちづくり」
農業振興、農業後継者等の確保、遊休農地、有害鳥獣対策、商工業振興、土地利用等に関する内容
 - 2 「危機管理に備えた安全安心のまちづくり」
消防・防災に関する内容
 - 3 「暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり」
居住環境、上下水道、自然環境、環境衛生「かわまちづくり事業」等に関する内容
 - 4 「健康長寿で元気なまちづくり」
健康、高齢福祉、に関する内容
 - 5 「子どもを大切にするまちづくり」
学校教育、学校給食、保育・教育、保育所機能に関する内容
 - 6 「交流で絆を育むまちづくり」
シティプロモーション、歴史まちづくり、移住・定住、地域おこし協力隊等に関する内容
- 「計画の実現に向けた具体的な方策」
財政、行政、広域行政、住民自治、男女共同参画、広報広聴、共創のまちづくり等の関した内容
- この分野別施策について7名が質問、次ページに掲載

またも 震度6弱が 桑折町を襲う！

お見舞い申し上げます



去る3月16日福島県沖を震源とする最大震度6強の地震により、特に揺れが激しかった市町村では住宅や道路、水道施設等に多大な被害が発生しました。

また、地震により死者や負傷者も多数確認されています。改めて亡くなられた方へご冥福を申し上げますと共に負傷された方には一日も早いご回復を、また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



片平秀雄 議長

地震発生から一週間後の県の調査報告では被害の実態が中々掴めず全容把握は時間がかかる見込みとの報道がありました。桑折町においても広範囲に被害発生しています。特に伊達崎地区、谷地地区では家屋等からの瓦落下や壁崩落など多数確認されました。

また、改修完了間近だった昭和大桥や新たに伊達崎橋が被災し通行止め、上流の伊達橋も通行止めなどライフラインにも大きな影響を及ぼしました。11年前の東日本大震災、令和元年東日本台風(19号)、令和3年福島県沖地震、そして今回の地震と自然災害が度重なるだけでなく頻度が短くなっています。災害は忘れた頃ではなく何時でもきます。常に非常時の対策をお願いします。

議会も町と共に町民の生命と財産を守るべく施策と活動して参ります。

※4月7日に開催された臨時会で地震対応の記事をP.25に掲載しております。ご覧ください。



伊達崎地区、石造りの倉が無残にも…



伊達崎小 特別教室の天井が崩れた

施政方針を問う

1. 活力と賑わいに満ちたまちづくり

令和3年度の積み残しと課題は

経済と「ミニニティー」の再生

岡本 貴士 議員

問 令和3年度はコロナ禍により多くの事業が中止や延期を余儀なくされた。令和4年度予算編成にあたり令和3年度の積み残しや課題について、どのように把握しているのか。

答 積み残しについては、コロナ禍により事業が執行できず、ミニニティーが弱体化してしまっただのではと考えている。町民の皆さんが、話し合ったり、行動したり、喜び合うことができなかった。非常に残念極まりない事態であった。課題については、経済とミニニティーの再生しかない。新型コロナウイルス感染症収束後は、住民自治の基本である町内会、住民組織、各種協会の方々と話し合いをいち早く再開していきたい。

本事業の具体策は

四季の花で農村の原風景を

佐藤 榮三 議員

問 農地景観維持事業について、新規事業として取り上げた本事業の詳細について伺う。

6. 交流で絆を育むまちづくり

地域おこし協力隊の定住促進へ

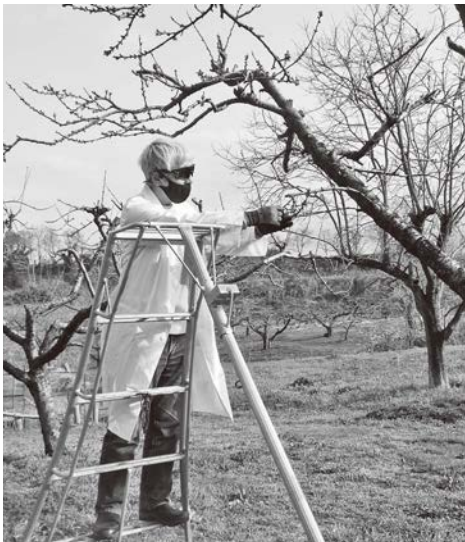
農地を確保サポートして行く

鈴木 隆志 議員

問 町の重要農産物である献上桃の栽培農家として3年間桃栽培の技術を習得して定住してもらうには、農地の確保とその後のサポートが必要と考えるが、町としての地域おこし協力隊定住に向けての対応について伺う。

答 献上桃の郷で桃の栽培農家として移住定住してもらうため、地域おこし協力隊として、研修を受けてもらっている。

1年目で技術習得、2年目で習得した技術を実習できる研修圃場を確保、3年目にその圃場を借り受けできるような形で取り組んでいき、その後の5年間は、町独自の経済的補償により、しっかりサポートして、移住定住に向け町として対応していく。



1人でもくもく作業する梅原隊員
自立を目指して

答 耕作者の高齢化等により、維持管理が困難になったピーチライン沿いの樹園地の荒廃を防ぎ四季折々の花を咲かせ、農村の原風景を取り戻し、観光に訪れる人々に桃源郷を感じてもらい、写真愛好家をはじめいろいろな人々が桑折町を訪れてくれるように、抜根整地、播種管理を行うものです。

情勢の変化に対応した見直しを

インター周辺の整備に向けて

佐藤 武朗 議員

問 本町を取り巻く「社会情勢」「周辺環境」等、急激な変化に対応した都市的土地利用を展開するため「都市計画マスタープラン」の見直しをどう図るか伺う。

答 相馬福島道路の全線開通、伊達市における大型ショッピングセンター開設等の大きな状況の変化に伴い「県北都市マス」の見直し。本町の「都市マス」も将来を見据えた見直しを図る。桑折町域分におけるインター周辺の開発については、この契機に興味、関心を持って頂ける企業もあることから、農業振興地域の見直し、インフラ等の整備、などの調査、構想を練って反映させる。また、塩漬けになつていた福島蚕糸跡地についても利活用の着実な推進にあたり、更なる都市機能と町民の利便性に供する。

女性参画をいかに進めるか

2次より一歩進化したものに

川名 静子 議員

問 3月8日は「世界女性デー」平成9年に結成した女性団体は「男女共同参画」を柱に活動してきたが、まだまだ桑折町では女性参画は進まない。その突破口となるのが審議会への参加だ。国の目標30%に比べ16%の低さだ。庁舎内は進んでも一般企業内では浸透していない。第3次の取組は。

答 政策過程への30%参画等あらゆる女性人材を育成していく。また、企業に於いては利益追求が目的であっても能率主義に留まらず、女性の視点や各々の特性、異なる感覚を目標達成のため尊重することが企業成功に繋がると考える。第3次プランの策定には、町民に加え企業にもアンケート調査をし、2次より一歩進化したものにしていきたい。

計画の実現に向けた具体的な方策

財政状況を踏まえた対応を

自主財源確保を進める

斉藤 謙 議員

問 自主財源は、他自治体比較で低い数値を示している。各種事業は町民意向を十分汲み必要がある。今後の事業は多くの住民が参加できる企画をすべきだ。特に公民館事業のあり方を見直し、遊休資産の売却計画を示すべ



町の未来がかかる

5. 子どもを大切に作るまちづくり

学校給食を無償に

踏み切れない

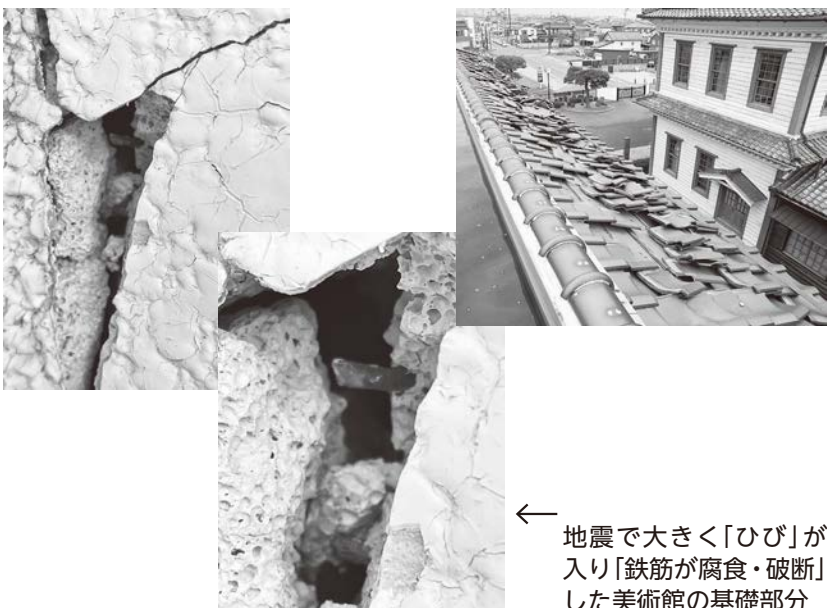
岩崎 久男 議員

問 学校給食は地元の食材を活用し、農家所得の向上に繋げる。自立の町を選択した桑折町は小・中学校給食は半額で、4年間継続してきた事を評価する。国見町、川俣町は新年度から無償に踏み切る。本町も無償化を検討すべきだ。

答 受益者負担の原則を考えると踏み切れない。世代間の公平を図りながらやりくりをしている。子供を大切にする町を堅持していく。

きである。町債は、町民の賛同を得るクラウドファンディングを導入すべきでないか。インター周辺整備は農地法関連の縛りがあり、企業誘致が遅々として進んでいないが、バランスのとれた企業誘致が望まれる。周辺のインフラ整備費は、以前から町長は民間資本を活用するとしている。莫大な費用が予想されることから、当町の財政状況を十分踏まえた対応が望まれる。

答 今後も自主財源確保を進めていく。インター周辺への企業誘致でインフラ費用を捻出していく。



← 地震で大きく「ひび」が入り「鉄筋が腐食・破断」した美術館の基礎部分

令和4年度 一般会計予算を 議会がただす！

総括質疑とは、一般会計及び特別会計予算案の質疑について、町長等に総括的見地から質疑を行うもの。

令和4年度歳入・歳出の主なもの

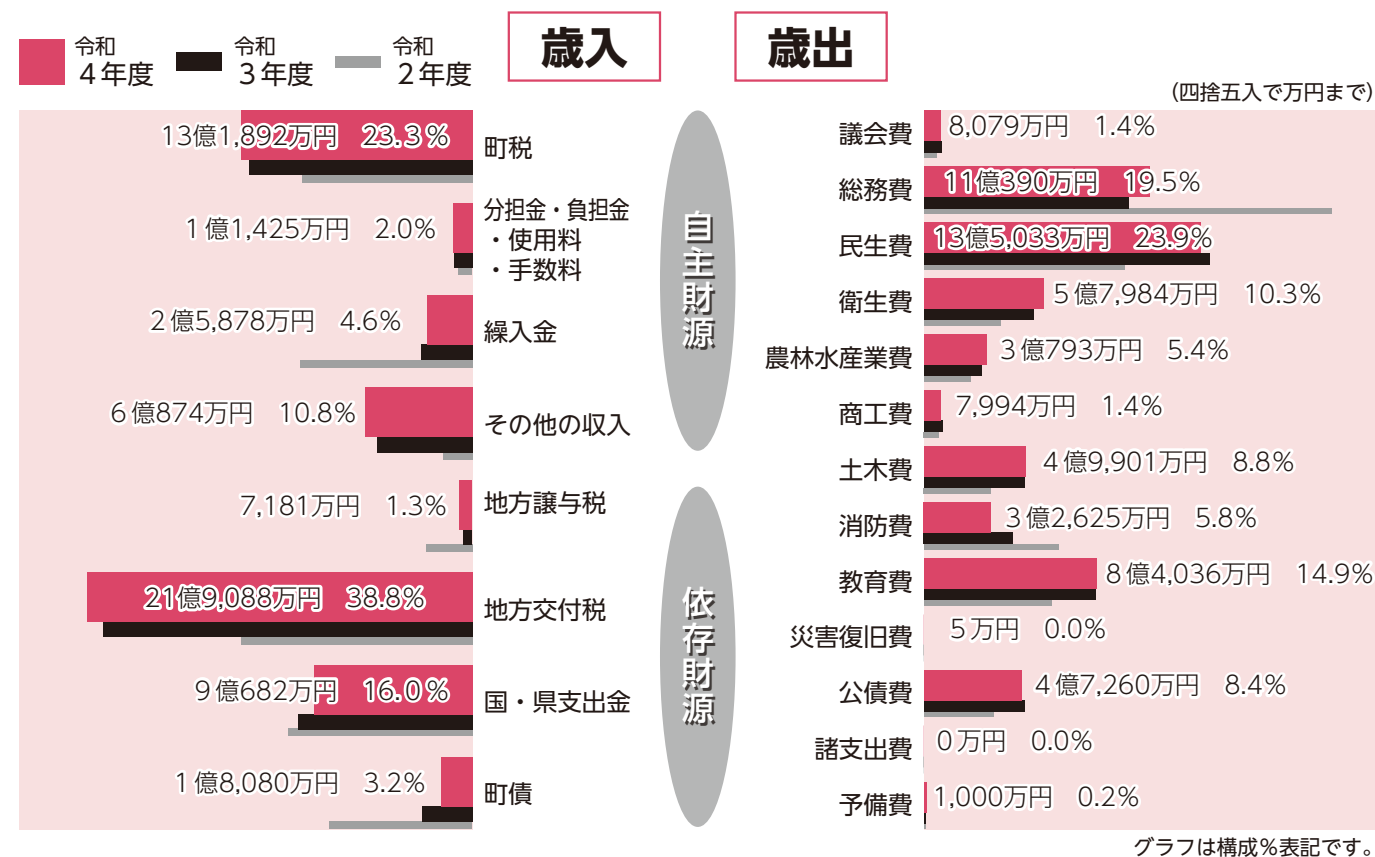
令和4年度歳入の概要については、増額を見込んだ主なものとして、地方交付税21億9,088万2千円(1億8,914万9千円の増)、町税13億1,892万4千円(1億1,060万2千円の増)、国庫支出金5億1,883万円(7,251万5千円の増)等が上げられる。

減額を見込んだ主なものとして、県支出金3億8,798万9千円(▲1億1,285万2千円)、町債1億8,080万円(▲9,170万円)、繰入金2億5,877万9千円(▲2,163万円)が上げられる。

歳出の概要については、普通建設事業費3億3,779万4千円(前年比72.7%増)で主な事業として歴史観光交流センター整備事業1億1,409万1千円(後に再考となり凍結)、町道新設改良事業4,821万3千円、他に人件費14億4,285万8千円、扶助費5億5,343万1千円、繰出金7億5,168万8千円等が主なものです。

「未来躍動へのキックオフ予算」

56億5,100万円 5.1%増
(要因：企業固定資産税の増額、ふるさと納税の増額)



各地区のコミュニティ再生策は

原 賢志 議員

問 各地区における総会や地区内行事等が形式化され住民同士のコミュニティが希薄になっていると感じている。地区住民同士のコミュニティ再生に向けた施策を伺う。

答 町づくりを進めるうえで町内会や住民自治協議会活動は欠かすことができない。今後早い時期に、地方創生コロナ関係交付金を活用しながら地域が自ら再生に取り組む支援をしていきたい。従前の地域の絆を取り戻す活動の後押しをしていきたい。制度として、仮称「コミュニティ再生支援補助金」を制度設計していきたい。補助金の活用においては、使い勝手の良い柔軟な対応をしていきたい。

西山城跡の今後の維持管理は

佐藤 武朗 議員

問 当事業予算に、西山城跡を守る会への50万円の補助金は保存と活用、次世代への継承を図る目的とあります。また、業者発注での草刈予算は300万円の計上。令和5年度以降も見据えた維持管理について取り組みはどのように行われる考えか伺う。

答 アフターサミット事業としてコロナの状況を見ながら、昨年のリモートでの対応しかなかった部分を実際に本町に來訪いただき大々的なイベントにする。その思いからこの

(次ページにつづく)

予算措置をした。その後として、維持管理には、全体の実行委員会がスライドして西山城跡を守る会として参加、要請していく。業務委託部分も減少させながら、補助金の増加も考え、ソフト、ハード両面で保存・活用していただく強い団体に育てる。



植宗も善ぶ
ボランティアによる草刈り作業

地域おこし協力隊の定着策は

佐藤 榮三 議員

問 受け入れ農家の選定と協力隊が定着するための支援・定着策はどの様に考えているか。

答 受け入れ農家については、JA桑折総合支店と伊達果実農協に推薦を要請し九名を推薦して頂いた。今後協力隊と受け入れ農家とのマッチングを継続的に支援していく。一件でも多くの隊員に就農定住してもらうために

(次ページにつづく)

は、協力隊として3年間技術の習得に努めその後、国県の助成事業を活用し5年間は桃の栽培に取り組んでもらい本町の農家として自立できるようサポートして行く。農業後継者発掘育成に向け現在2名が隊員として研修中だ。さらに1名着任、その後4～5名が着任に向けて審査中である。

土地購入も見直すべきでは

半澤 高議員

問 歴史観光交流センター整備事業に関しては、「施政方針に対する質問」のなかでの同僚議員への答弁で「土地購入についてはそのまま予算を残したい」とのことであった。土地購入も含めて、多くの町民の意見を聴き見直すべきではないか。

答 土地の購入も含め町民の意見を聴く機会を設けながら、できるだけすみやかに町としての方向性を確立させたい。

歴史観光センター整備するのか

岡本 貴士 議員

問 歴史観光交流センター整備事業について、多くの議論が交わされている。令和4年度に、この事業を実施するのか、しないのか。

答 歴史観光交流センターの用地取得に関しては、令和4年度初めから町民の意見を集める機会を設け、検討していく。一旦、4月はじめに予算をおろしたい。その後、多くの検

討の上に、再度時期をみて結論に沿った形で対応していきたい。

観光交流センター整備のあり方

鈴木 隆志 議員

問 用地取得について、民間業者物件で、いつ買手が現れるか懸念がある。まず、順番を踏んで、4月早々に協議の場を設けて、用地を取得するか判断、その後、建物を建設するのか協議していく必要があると考えるが町長の所見を伺う。

答 今後、検討会とか有識者会議等で十分検討の上判断していく。4月早々にまず、いろんな角度から観光交流センターのあり方について検討できるような組織、会を発足させ、速やかに、あるべき姿について議論を進めていく。

保育所民営化方針は撤回すべきだ

岩崎 久男 議員

問 第2期子ども子育て支援計画では、今後も幼稚園と保育園を町独自の子ども園として、一体的に運営していくとはっきり謳っている。この事業計画策定の翌年に打ち出された町の民営化方針は突然だ。撤回すべきだ。

答 保育教育の課題解決、充実を図りながら、将来的に安定かつ効果的な運営に資するように、保育教育のあり方を見直していく。関係者には広報等を通して広く周知する。また、町の考え、対応への理解を得ていく。

立地条件を生かしたIC開発

川名 静子 議員

問 企業誘致に伴う町内GDP額の増、雇用創出、町民所得の向上を狙う「21世紀の追分」推進プロジェクトは10年間の計画だ。初年度は、本町に立地した企業にとって、桑折の地の利を生かすすぐにでも来たい関連会社があると聞く。今がチャンスと捉え早く進めるべきと思うが。

答 遅れていたが時期を逸することなくIC周辺の土地開発に取り組む。国・県との協議、農業振興地域整備計画の見直しをする。農地からの転換を図ることで一歩進める事が出来る。遅れていた問題を確実・着実・速やかに執行できるよう、地権者も含め組織を立ち上げ事務を進め、雇用・税収を確保していく。

財源の確保がすべてか

斉藤 謙 議員

問 社会経済事情の変化や国等あるいは町長の政策的な判断の変化によって影響を受けることは言うまでもないが、予算編成は、財政計画に基づいたものと考えてるが、当町では未だ中長期財政計画は未策定である。早期に策定し、町民へ公表すべきでないか。また、OA事務機費用の削減については、県北地区内各自治体と広域連携し、一括発注の形で経費節減に努めていく考えはないか。

答 中長期財政計画は今年度中に策定し、町民へ示していく。事務費等の削減に関しては、広域連携を図ることを念頭に進めていく。

定員195名は幼稚園一部民営だ

齋藤 松夫 議員

問 子ども子育て支援法は「子ども子育て支援事業計画」を変えるときは、「子ども子育て会議」に諮らなければならぬと定めている。この会議はまだ行われていないが、これは法令違反ではないか。

また認定こども園の定員は195名であることが明らかにになった。保育所の定員は120名であるので、これは幼稚園の一部民営化ではないか。

答 法令違反の件は、私どもも内閣府に聞いたが、問題は無いということであった。定員についてだが、保育所定員120名以外は、3才、4才、5才各学年25名として事業者が計画している。醸芳幼稚園は存続する。

討論

一般会計に対して

反対 齋藤 松夫 議員

顕著に問題のある三点を理由に反対だ。その第一は、観光交流センター整備予算1億1千万円が、早くも撤回せざるを得なかった欠陥予算にある。第二は、安上がりの保育行政、具体的には「保育所全面民営化・幼稚園一部民営化」推進予算であり賛成できない。しかも突然の方針転換が依然として「謎」であることは重大である。第三は、これら認定こども園推進事務が「桑折町第2期子ども子育て支援事業計画」を無視する法令違反だからである。

賛成 半澤 高議員

「歴史観光交流センター整備事業」について、土地購入に5千万円、その他維持管理費を考えると、もっと広く町民の意見を聴いて決めるべきではないかと考え総括質疑で質したところである。町長答弁では、土地購入も含めて多くの町民の意見を聴き、慎重かつ速やかに対応したいとのことであったので賛成する。なお、町民意見の拝聴に

あたっては、多くの方策をとって頂きたい。

反対 川名 静子 議員

予算に蚕糸跡地貸付料が入る、20年間国への返還金も発生、返し続けても急がねばならないのか。保育園の民営化は町方針の大転換。しかし、町民説明はまだまだなし。全く町民は「カヤの外」だ。また美術館に代わる建物が予算化されたが再考になる。「歴まち」の保存候補になっていた建物すら保存できず解体された。厳しい財政の本町にとって喫緊の課題は何か考えて欲しい。住み続けたいと思うのは町民だ。町民主役のまちづくりであるべきだ。

賛成 佐藤 武朗 議員

新総合計画の目指す「町の将来像」に向け、スタート年度の必要な事業、相馬福島道路の全線開通、「大型ショッピングセンター」開業を見越し、企業誘致につなげる「都市的土地利用」の推進は、高いポテンシャ

反対 斉藤 謙 議員

今回の議案に対して、私は反対する。

反対理由は、幼保連携こども園に関する町民への説明会を開催し、町民の保育園民営化による不安視を払拭すべきでは、再三にわたる町長へ提言してきたが、説明会を開催するとしながらも、今だ開催されないままとなっている。不安視される町民から民営化反対の陳情が提出され、不安払拭とされていないこと等、誠に遺憾である。

賛成 鈴木 隆志 議員

限られた歳入に対して、継続事業は、前年度実績を考慮、重要項目については

事業内容を検討、新規事業においては、効果等考慮して予算を組んでいる。新規事業の歴史観光交流センター整備事業については、予算取り下げの修正案を提出することを確認していることから賛成する。なお、歳出については、可決された予算を無理して執行することのないよう十分留意の上業務執行に当ることを望む。

賛成 原 賢志 議員

更なる自主財源確保のための具体的方策も示されており総合計画実現に向けた予算であると評価する。行政執行にあたっては、大きな声だけが町民の声ではなく静かにその成果を望んでいく町民も多くいる。目まぐるしく変化する社会情勢・町民ニーズ等を見誤ることなく、町民の意見を聞き職員一丸となって、創意工夫により最大の効果を上げることはもとよりスピード感を持って総合計画推進にあたることを望む。

令和4年度
各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険				
			後期高齢者医療	介護保険	公共下水道	水道事業	
予 算 額	56億 5,100万円	39億 118万円	13億 5,853万円	1 億 8,628万円	16億 9,867万円	2 億 9,234万円	(収益的收入) 3 億 6,536万円 (資本的收入) 0万円
前年対比	2 億 7,260万円	4,654万円	2,656万円	389万円	2,737万円	▲1,984万円	(収益的收入) 856万円 (資本的收入) ▲400万円

(四捨五入で万円まで)

(四捨五入で万円まで)

令和3年度
補正予算

一般会計(第9号)	
歳入歳出予算の総額から それぞれ1億6,705万 6千円を減額し、予算総額 を65億5,639万円とす るもの。	《主な歳入》 町税 ・ 固定資産税 5,273万9千円 ・ 自動車重量税 1,740万5千円 法人事業税交付金 1,560万3千円 県支出金 ・ 県補助金 ▲4,248万1千円 基金繰入金 ▲2億457万円 町債 ▲7,060万円 《主な歳出》 基金管理費 865万3千円 がんばるふるさと・桑折応 援基金積立金 財政管理費 568万2千円 (ふるさと納税返礼品発送関連 事業)
保育所管理運営費 ▲1,325万2千円 (任用職員中途退職の不用額) 農業振興対策事業費 ▲1,012万1千円 (穿孔細菌病対策、農業次世代 人材投資、就農者支援事業不 要額) 橋梁災害復旧費 ▲1,460万円 (昭和大桥災害復旧工事不用額) 職員人件費 ▲1,437万1千円 ※年度末に伴う不用額の整 理である。	《国民健康保険特別会計 (事業勘定)》 歳入歳出予算の総額に、 それぞれ1,689万5千 円を追加し、予算総額を13 億8,627万6千円とす るもの。 《主な歳入》 国民健康保険税 581万9千円 県支出金 1,503万7千円 他会計繰入金 ▲549万5千円

《主な歳出》 保険給付費 2,196万5千円 保険事業費 ▲523万円	《後期高齢者医療特別会計(第1号)》 歳入歳出予算の総額から それぞれ718万9千円を 減額し、予算総額を1億7, 519万7千円とするもの。 《主な歳入》 後期高齢者医療保険料 ▲627万3千円 繰入金 ▲70万4千円 《主な歳出》 後期高齢者医療広域連合納 付金 ▲672万7千円 保健事業費 ▲52万円	《介護保険特別会計(保険事業勘定)(第4号)》 歳入歳出予算の総額から それぞれ2,536万9千 円を減額し、予算総額を16 億8,265万3千円とす るもの。 《主な歳入》 国庫支出金 ▲450万8千円 支払基金交付金 ▲2,260万6千円 繰越金 694万7千円 《主な歳出》 保険給付費	《公共下水道事業特別会計(第2号)》 歳入歳出予算の総額から それぞれ1,735万1千 円を減額し、予算総額を2 億9,509万2千円とす るもの。 《主な歳入》 分担金及び負担金 144万5千円 繰入金 ▲1,530万5千円 繰越金 663万4千円 町債 ▲710万円 《主な歳出》 事業費 ▲1,488万6千円 災害復旧費 ▲211万7千円	地域支援事業費 ▲1,945万円 ▲556万9千円
---	---	--	---	---------------------------------



旧庁舎の最後のさくら

定例会提出案件

専決承認 1/14

氷化した除雪と片づけ

一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額に、
それぞれ1,500万円を
追加し、予算総額を67億2,
344万6千円とするもの。

《歳入》

繰越金 1,500万円

《歳出》

土木費 1,500万円

質疑

- ・ 専決について議長への相
談はあったか。
- ・ 他町に比べ遅い専決では
なかったか等の質疑が
あった。

条例制定

議員選にも供託金が

議会議員及び長の選挙における
選挙運動の公営に関する条例

- ・ 選挙運動費用のうち新た
に公費負担となる経費
- 選挙運動用自動車、ビラ
ポスター……限度額以内
- 立候補には供託金が必要

条例改正

取りやすくなった休業

町職員の育児休業等に関す
る条例の一部改正

・ 非常勤職員の育児休業、
部分休業取得要件が緩和

質疑

- ・ 改正の効果
 - ・ 環境整備の時期・方法等
の質疑があった。
- 《ラス解決になるのか》

町職員の給与に関する条例
の一部改正

期間 令和4年4月1日か
ら9月30日まで
減額率
100分の3を乗じた額
・ 措置後のラスパイレス指
数は99・8%

質疑
・ 組合と協議、合意

- ・ 100を超えたらペナル

7名分を確保した

町奨学金条例の一部改正

奨学金貸与の需要増により
5千万円から8千万円に増額

質疑

- ・ 増額分で何人可能か
- ・ 給付型はあるのか
- ・ いくらまで膨らむのか試
算はしたか
- ・ 原資の確保等の質疑が
あった。

27年ぶりの報酬改正

町消防団設置等に関する条
例の一部改正

改正
・ 消防団員の処遇改善を図
るため消防庁が定めた団
員報酬及び費用弁償額の
改正

改正内容
全階級に7,500円の
定額増
出動報酬の変更
災害出場
4時間以上：8千円
4時間未満：4千円
費用弁償：変更なし

訓練出場(1回)1,200円
警戒(1回)600円

条例廃止

桑折いきいきサポートセン
ター設置条例の廃止

- ・ 定額増の根拠は
 - ・ 4時間とした理由は
 - ・ 処遇改善の周知等の質疑
があった。
- ※他に2件の一部改正が
あった。議案名は議案審
議結果表をご覧ください。

質疑

・ 条例廃止は工事完了後か
等の質疑があった。



現在はやすらぎ園の中で

締結

福島市及び桑折町におけるふく
しま田園中枢都市圏の形成に係
る連携協約の締結に関する協議

討論

協約締結に対して

反対 齋藤 松夫 議員

対等平等の関係での他市
町村との連携には賛成であ
る。しかしこの連携協約は
福島市を中心にして桑折町
はそれに協力するというも
ので賛成できない。この構
想の真の意図は将来の道州
制に導くもので、合併では
なく、自立の道を選択した
桑折町が進む道ではない。
よって反対の態度をとるも
のである。

賛成
原 賢志 議員

目的を達成するための連携協約である。ビジョンで示されている具体的取組等に関し、本町の独自性を維持する観点から取り組みへの連携を判断することが可能な協約である。自立の道を選択した本町の独自性を活かしながら、本町の計画に沿った連携がなされるものと信じる。

賛成
佐藤 榮三 議員

圏域内の近隣市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積、強化」及び「生活関連機能サービス向上」を共有し、活力ある社会経済を維持するために有効であることから、賛成する。

賛成 8 反対 2

指定管理者の指定

- 施設の名称
町民研修センター
 - 指定管理者団体
南半田字川端22番地株式会社
ふるさとエール桑折代表取締役 和泉守昭
 - 指定期間
令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
- 質疑
・途中撤退は、選考委員会の意見は、定量的な効果、指定料の検討等質疑があった。



民間だからできるサービスに期待

町道路線の廃止と認定

廃止	路線名	起点	終点	延長(m)
	1125号線	桑折町大字成田字堰上24－2	桑折町大字松原字前原48(左)	1,812.5
	1172号線	桑折町大字松原字弁天沢14－6	桑折町大字松原字新田前72	1,162.7
	1179号線	桑折町大字松原字舘ノ前5	桑折町大字松原字中島5	338.7
認定	路線名	起点	終点	延長(m)
	1125号線	桑折町大字成田字堰上24－2	桑折町大字松原字日照田48－2	1,021.9
	1172号線	桑折町大字松原字弁天沢14－6	桑折町大字松原字舘ノ前4－3	163.9
	1179号線	桑折町大字松原字日照田61	桑折町大字松原字中島5	75.6
	1249号線	桑折町大字松原字中島16－4	桑折町大字松原字日照田61	344.3
	1250号線	桑折町大字松原字前原1－2(左)	桑折町大字松原字前原48(左)	299.8
	1251号線	桑折町大字松原字狸内36－2	桑折町大字松原字新田前72	682.2

陳情 審査結果

請願・陳情とは

町民のみなさんの意見や要望等を町政へ反映させる制度です。※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。
(電話582-2113)

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出

(陳情者)

伊達市保原町字船橋180

日本労働組合総連合会

福島県連合会伊達地区連

合会 議長 高橋 誠一

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

採択(意見書提出) P 25

桑折町立釼芳保育所等の存続と発展を求める陳情

(陳情者)

桑折町字東大隅9 紺野

滋他13名

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

継続審査

設置 条例

町半田財産区管理会社及び町半田財産区特別会計等の設置

- 令和4年2月7日財産区議会に於いて県知事提出議案「町半田財産区議会設置条例廃止」が可決され、令和4年3月31日付財産区議会を廃止、管理会制へ移行した。
- 管理会委員定数は7名、任期は4年とする。

半田財産区特別会計

歳入歳出予算の総額は、それぞれ49万4千円とする。

《主な歳入》

財産収入 3万9千円
繰入金 39万9千円

《主な歳出》

総務費 32万4千円
農林水産業 12万円

同意

町内会から推薦された委員候補者7名を、管理会委員に選任することに同意した。

管理会委員	町内会			委員名		
	窪 町	桐 田	宣 雄	義 良	原 野	松 紺
	免 町	御 下	光 男	隆 忠	藤 村	佐 野
	半 田	久 保	志 伸	高 建	沼 田	柿 羽
	八 幡	荒 屋	雄 追	隆 雄	神 田	羽 根
	敷 分					

決議

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に対し、全会一致で抗議の意を表す

ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難する決議

去る2月24日、ロシアは、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為として断じて容認することはできない。よって、本町議会は、ロシアによる軍事侵攻に対し抗議と非難の意を強く表明するとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。以上、決議する。

令和4年3月3日 桑折町議会

議 案 審 議 結 果 表

○全会一致で可決の議案 第1回臨時会

議案名	討論者
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて	
議案第1号 令和3年度桑折町一般会計補正予算(第7号)	

○全会一致で可決の議案 第3回臨時会

議案名	討論者
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて	
議案第27号 重要文化財旧伊達郡役所災害復旧保存修理工事請負契約の締結について	
議案第28号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第2号)	齋藤松夫
同意第8号 桑折町固定資産評価員の選任について	

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	斉藤 謙	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
議案第10号 福島市及び桑折町におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について		○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第19号 令和4年度桑折町一般会計予算		○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	－	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて		議案第21号 令和4年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第2号 桑折町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例		議案第22号 令和4年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	
議案第3号 桑折町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		議案第23号 令和4年度桑折町公共下水道事業特別会計予算	
議案第4号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	齋藤松夫	議案第24号 令和4年度桑折町水道事業会計予算	齋藤松夫
議案第5号 桑折町奨学基金条例の一部を改正する条例		議案第25号 桑折町半田財産区管理会及び桑折町半田財産区特別会計等の設置等に関する条例	
議案第6号 桑折町都市公園条例の一部を改正する条例		議案第26号 令和4年度桑折町半田財産区特別会計予算	
議案第7号 桑折町町営住宅条例の一部を改正する条例		同意第1号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第8号 桑折町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例		同意第2号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第9号 桑折いきいきサポートセンター設置条例を廃止する条例		同意第3号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第11号 指定管理者の指定について		同意第4号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第12号 桑折町道路線の廃止について		同意第5号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第13号 桑折町道路線の認定について		同意第6号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第14号 令和3年度桑折町一般会計補正予算(第9号)		同意第7号 桑折町半田財産区管理会委員の選任について	
議案第15号 令和3年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)		発議第1号 ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難する決議(案)	
議案第16号 令和3年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		発委第1号 桑折町議会委員会条例の一部を改正する条例	
議案第17号 令和3年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)		発委第2号 桑折町議会会議規則の一部を改正する規則	
議案第18号 令和3年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		発委第3号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)	
議案第20号 令和4年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算			

※報告は採決なし

町政を問う 60分

一般質問

◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
◇質問項目は、通告によるものです。
◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。

登壇議員	質 問 事 項
齊藤 謙 議員	1. 除雪事業等に関して 2. 新たな教育プログラム等に関して 3. 当町の財政運営等に関して 4. コロナ感染対応等に関して
鈴木 隆志 議員	1. 「汚染状況重点調査地域の指定」の解除について 2. 町役場行政組織の一部改正について 3. 町道等除雪対策について 4. 町道、水路等の維持管理について 5. 新型コロナワクチン接種及び感染症対策について
川名 静子 議員	1. 令和4年度の予算に関して 2. 新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン変異株への町対応に関して 3. 町の除雪対策に関して 4. 「認定こども園」に係る経費に関して 5. 相続手続きのワンストップ化に関して
岡本 貴士 議員	1. 町の世話役の声「コロナ禍で、連絡は全て文書となり、意思疎通が弱くなる」をうかがった。コミュニティ弱体化への対策は？ 2. 保護者の声「雪が降ると送迎時、小学校付近が渋滞して困る」をうかがった。除雪作業は学校付近の町道を優先すべきでは？ 3. 私はFAX、ホームページ、SNSを通じ、町民の意見をうかがっている。コロナ禍、町民の声を受けるための町の工夫は？ 4. 一般会計予算(歳入)について
半澤 高 議員	1. 新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染対策等について 2. 大雪の際の除雪のあり方について 3. 入札制度およびプロポーザル方式のあり方について 4. 町の記録写真、動画の「アーカイブ」を 5. 町施設等の利活用について
岩崎 久男 議員	1. 幼保連携型認定こども園誘致について 2. 都市計画法34条11号について 3. 東京電力(株)に対する障害賠償請求について
齋藤 松夫 議員	1. スタッフ5名常駐を想定し、5億円以上の巨費を投ずる種徳美術館改築・周辺整備事業について 2. 大気汚染防止法と旧役場庁舎解体工事前のアスベスト有無調査の必要性について 3. 高橋町政3期目後半において、突然浮上した民営幼保連携型認定子ども園誘致事務について 4. 11年余の高橋町政下における幼保連携型認定子ども園についての検討経過について 5. 水道事業ビジョンはできたが、事業スケジュール不明が続いている簡易水道統合事業のありかたについて



齊藤 謙 議員

歩道の除雪をどうする。 共助構築を地元と協議



歩道には雪がいっぱい、危険だ！

問 昨年末の大雪で、町道の除雪が進まず、通行が容易でなく町民からの苦情が殺到した。特に高齢者や子供達が通る歩道が危険極まりなく大変危険な状態であるが、今冬の除雪対策を踏まえて、各町内会等と協議会等を開催し、今後の除雪対策を講じるべきでないか。

答 町長 総務省で提言している共助体制を地元と協議しながら対策等を協議していく。

課題は経常収支比率の改善 健全財政を堅持していく。

問 令和元年度決算カード及び令和元年度財務4表等、資料の分析結果を踏まえる、各自自治体とも財政状況は大変厳しい状況にある。人口減少やコロナ禍の影響による経済が低迷している。当町も経常収支比率約90%程度であり、政策経費捻出が容易でない状況下にある。特に補助金が増加傾向にあること、近年自然災害が多発し計画的なインフラ整備を要するが多額の費用となる。当町はインター周辺の整備や地震で破壊された種徳美術館の整備等、盛り沢

答 町長 今後、スクラップ&ビルドの徹底と経常経費の縮減、財源の確保に取り組む総合計画に示す政策実現に向けて、経常的一般財源を優先配分することになっている。

問 令和元年度決算カード及び令和元年度財務4表等、資料の分析結果を踏まえる、各自自治体とも財政状況は大変厳しい状況にある。人口減少やコロナ禍の影響による経済が低迷している。当町も経常収支比率約90%程度であり、政策経費捻出が容易でない状況下にある。特に補助金が増加傾向にあること、近年自然災害が多発し計画的なインフラ整備を要するが多額の費用となる。当町はインター周辺の整備や地震で破壊された種徳美術館の整備等、盛り沢

答 町長 今後、スクラップ&ビルドの徹底と経常経費の縮減、財源の確保に取り組む総合計画に示す政策実現に向けて、経常的一般財源を優先配分することになっている。

これも質問

問 教育の早期化方針は

答 政府の方針を注視している。

問 コロナ感染対応はいかに

答 集団接種を開始、接種率も順調に伸びている



鈴木隆志議員

町道・水路等の整備が遅れているが 幅広く要望に応えるべく予算増額

各町内会・各種団体等からの町道・水路等の維持管理・整備に対する要望事項の一部が長期間未実施となっていることから次の点伺う。

問 町道・水路等の要望に對しての対応は。

答 町長 現地調査を踏まえ、緊急性や利用頻度、財政等を総合的に勘案し、年次計画で対応している。

問 一部、長期間未実施となっている要望事項への対応は。

答 町長 資材交付は全て対応している。維持管理は現地調査を踏まえ、概ね対応してきた。次年度、幅広く要望に応えるべく、予算を増額計上した。今後、優先順位を考慮し対応していく。

問 要望事項がどのように進んでいるのか説明が必要では。

答 町長 今後、町内会長に對し、しっかり説明していく。



毎年工事はしているが、今年はどこになるのか。

除雪に対する今後の対応は 「除雪指針」を策定し対応する。

昨年末からの大雪による町道、歩道の除雪に對し、町民から多数の要望が寄せられていることから次の点伺う。

問 除雪マニュアルの策定は。

答 町長 今回の大雪を教訓に町民生活の安全確保に向け、自助・共助・公助による「除雪指針」を策定する。

問 保育所・幼稚園・小中学校への除雪機配備の必要は。

答 教育長 半田釀芳小学校・釀芳中学校に各1台配備している他は、役場配備の除雪機を貸出対応しているので、今のところ配備の必要はないと考えている。

問 自走式除雪機の町内会等への貸出は。

答 町長 除雪機を貸出した場合のオペレーター、安全作業等を考慮し、貸出しについて、今後「除雪指針」策定にあたり、検討していく。

これも質問

- 問** 「除染状況重点調査地域の指定解除の周知は。
- 答** 健康管理等町民の不安払拭に向け周知する。
- 問** 行政組織の一部改正に對する町民への対応は。
- 答** 町民にわかりやすく迅速丁寧に対応する。
- 問** 新型コロナウイルス3回目接種の情報提供は。
- 答** 交互接種の有効性や副反応の周知に努める。

20年後保育園は存在するのか 維持しなければならぬ

本町の保育料金は町立だからこそ軽減されている。松葉福祉会との具体的な取り決めを問う。

問 保育料は。

答 町長 所得に応じ決定する。

答 町長 対象経費の負担割合は国1/2、町1/4、設置者1/4で、事業費がまだ提示されないため、算定はまだだ。

問 20年契約終了後、保育園は存在しているのか。民間ゆえ撤退する事もあるのでは。

問 運営費用の町負担金は。

答 町長 令和2年決算で町負担は1億1707万6千円、大半が人件費だ。

問 認定こども園新設に係る町負担は。

答 町長 社会的要請として維持していかなければならない。



川名静子議員

4回目の接種が必要な場合は いち早く推進、命を守る



ワクチン接種で子ども達も安心「うつらない、うつさない」を徹底

一月中からほぼ毎日子供たちに感染者が出ている。感染力が強い事からより速い万全な町対応が急がれる。

問 初期対応で休校にするなど緊張感が足りなかったのでは。

答 教育長 基本対策を徹底する事で学校は継続できると判断した。学校内での感染は防げた。また、保護者の協力を得て登校を控え、回復後は登校してる。

問 国より配布されたキットは使用したか。

答 教育長 使用までは至らなかった。

問 高齢者の接種予約は取り易い方法だったか。

答 町長 開始直後は電話予約で混乱した。方法の割合は電話40.8%、WEB35.7%、LINE23.5%だ。

問 3回目の接種完了はいつ頃までか。また、4回目の接種となった場合の対応は。

答 町長 5月中完了予定。4回目が必要となればいち早く推進し町民の命を守る。

これも質問

- 問** 前計画の総括をした上での検証・課題は
- 答** 内外共に高い評価を得た
- 問** 通常以上のドカ雪でも災害にしない理由は
- 答** 住宅の倒壊、生命財産に係る程ではない
- 問** 相続手続きをワンストップ化に
- 答** スムーズな手続きをサポートする



岡本貴士議員

町民の声を聞くため、町の工夫は 様々な取組により把握に努める

問 私はホームページ、FAX、SNSで町民の声を受け付けている。コロナ禍、町民の声を聞くため、町の工夫は。

答 町長 広聴活動については、コロナ禍により、「まちづくり懇談会」等を中止せざるを得ない状況が続いているが、役場庁舎内の感

染防止対策を徹底し、町民の皆様が安心して来庁できる環境を整えるとともに、各種アンケート調査の実施や、町ホームページはもとより、電話・FAXでの応対、公共施設に設置の「町民ご意見箱」コーナーにより、意見やニーズ等の把握に努めている。



町民の声、こえ、コエ

コロナ、大雪、戦争、地震。。。

除雪作業は学校付近を優先すべき 共助による地域除雪に取り組む

問 町民の声（保護者）「雪が降ると送迎時、小学校付近が渋滞して困る」をお預かりした。町の除雪作業は学校付近の町道を優先すべきでは。

答 町長 除雪については、主要道路を優先して、職員はもとより業者に発注し対応しているが、町内全城を同時に網羅することは困難であることから、学校周辺

については、地元町内会や各学校へ融雪剤を配布するともに除雪の協力を仰いできたところである。今後については、PTAをはじめ地域住民や各種団体等に広く理解を求め、国土交通省が提唱している「共助による地域除雪」の取り組みを推進するなかで、学校施設周辺の除雪を進めていきたいと考えている。

これも質問

問 地域コミュニティの弱体化への対策は

答 町民との意見交換を重ねながら再生に努める

問 令和4年度の歳入について

答 企業誘致や移住定住促進を図りたい



半澤高議員

「踊り屋台」は 昨年3月に処分した



プール跡の利活用は

問 町施設等の利活用に関して、以前より質問・質疑してきたが、今後の利活用維持管理について次の施設等について伺う。

①「踊り屋台」の利活用は。

②各小中学校のプール跡の利活用と維持管理は。

答 町長 ①「踊り屋台」については、製作から約30年が経過しており、老朽化に加え近年利用実績がないことから、所期の目的を達成したものと判断し、令和3年3月に処分した。

答 教育長 ②廃止したプールは、現在各校において教職員による巡視点検を行い適切に管理している。今後の利活用については、新総合計画において、小中学校の今後のあり方と関連させながら施設・設備についても検討していくこととしており、その中で取り扱いについて協議していく。

感染者の心のケアは 保健所にて対応

問 新型コロナウイルス感染症の感染者に対する心のケア等に対応するのか。

答 町長 保健所において24時間体制で感染者の相談対応をしており、必要に応じて医療機関につないでいる。

これも質問

問 町施設の除雪対応は

答 職員による対応を基本としている

問 記録写真や動画をホームページに公開しては

答 先進自治体の事例等を参考に研究したい



岩崎 久男 議員

幼保連携型認定こども園は 認定こども園開設事業者を選定

問 蚕糸跡地プロポーザル応募事業者に対する審査委員会が「子ども子育て支援事業継続計画」で謳われていない「幼保連携型認定こども園開設事業者」を優秀事業者として選定した理由及びその協議経過を伺う。

答 町長 公募型プロポーザル方式により募集した結果、3事業者から応募があり、実施要領に基づき審査されたものであり、外部有識者の意見を踏まえ、政策会議において「社会福祉法人松葉福祉会」を優秀事業者として決定した。

問 8月10日の政策決定内容は。

答 町長 認定こども園設置事業者と、町の基本的な考え方や運営内容等に関して協議を重ね、決定したものだ。

問 統合幼稚園事業の総事業費、財源内訳及び補助金の適正化法に基づく「目的外使用禁止年限」について伺う。

答 町長 総事業費5億6,726万5千円で、その財源内訳は国庫補助金9,556万7千円、町債3億8,790万円及び一般財源8,379万8千円だ。また、目的外使用禁止年限については、令和21年2月20日となる。



未来を受け継ぐ「桑折っ子」

都市計画34条11号の進捗は 県開発審査会を経て決定する

問 県との事業協議の進捗状況は。また、町は住民への公告、縦覧、町主催の都市計画協議会はいつ頃開催か伺う。

答 町長 区域指定については、2月15日の県への本協議の申し出を踏まえ、2月25日に「町都市計画審議会」を開催し、了解を得たところである。今後、3月下旬に開催される「県開発審査会」を経て、年度内に決定する。

これも 質 問

問 東京電力(株)に対する損害賠償請求額は

答 令和2年度分職員人件費3,531万を請求する。

観光交流センターの費用対効果は 交流人口増加町活性化に繋がる

問 種徳美術館改築・周辺整備事業は、観光交流人口の増大によって、町に賑わいをつくるのが目的と理解するが、スタッフを5名常駐させ、5億円もの巨費を投じてそれだけの効果を上げることができるのか。観光交流人口獲得の見通しを具体的に示していただきたい。

答 町長 歴史観光機能基本構想は、被災した種徳美術館復旧や建替について、法令や費用面等の検討を行った結果の中間報告である。本事業は、福島相馬道路や大型商業施設開業の時期を逃さず、郡役所を拠点とした歴史・文化を活かしたまちづくりを推進することにより、来訪者の町内回遊を図り、交流人口の増加、ひいては町の活性化につながるものと考えている。



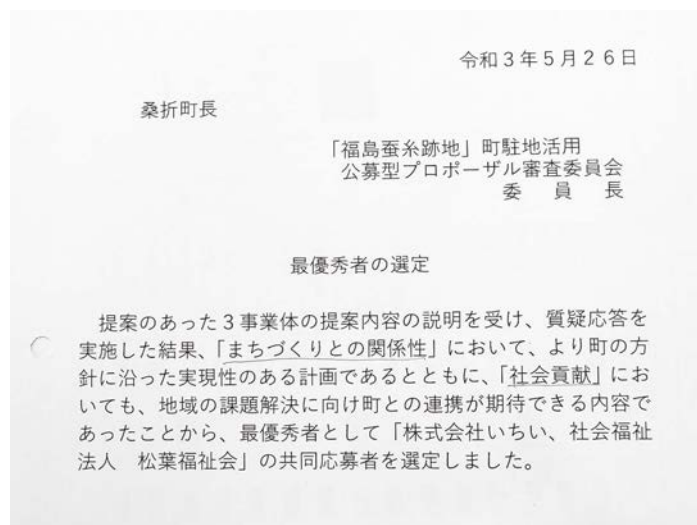
齋藤 松夫 議員

プロポーザル審査報告書の提出を 情報開示請求あれば対応(撤回)

問 「福島蚕糸跡地」町有地利活用公募型プロポーザルで、審査委員会が「株式会社いちい及び社会福祉法人松葉福祉会」を最優秀事業者と選定したことの理由について、町長は同委員長からどのような説明を受けているか、その内容について審査結果報告書の写しを示しつつ具体的に明らかにされたい。

答 町長 「商業施設を核に交流・子育て機能を持つ複合施設」のプロポーザル公募に3業者の応募があり、実施要項に基づき審査された。その後外部有識者の意見を踏まえ、政策会議において決定した。審査報告書は情報開示請求があれば対応。

※この文書は20分間の議事中断後提出に至る。



長時間議事中断後に提出

これも 質 問

問 簡易水道統合計画を問う

答 水道事業基本計画策定で対処

委員会活動報告

総務文教

常任委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会は、所管事務調査として、「子ども子育て支援事業のあり方」について、協議する。

町側の幼保連携型こども園に関して、民営化を図ることについて、その方針のプロセスについて調査研究していく必要があるとのことと決定した。また、町民有志一同から「桑折町立醸芳保育所等の存続と発展を求める陳情書」が提出され、付託された総務文教常任委員会と協議の結果、継続審査に決した。

産業厚生

常任委員会

委員長 佐藤 榮三

当委員会では「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出を求

めるの陳情について」協議を行った。

協議の結果、採択すべきものと決し、同意見書を本会議に提出し同意を得た。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

議会運営委員会では、閉会中の所掌事務調査事項「予算決算の審議のあり方」の調査中であり、さらに「欠席に関するルールについて」の協議のなかでは、長期欠席議員の報酬削減に関して条例化を検討中である。

なお、議長からの諮問事項である「桑折町議会業務継続計画の見直しについて」は、『感染症対策編』についてまとめ、2月に議長に答申したところである。

また、「桑折町議会委員会条例」(第2条中、常任委員会の所管課の名称変更)及び「桑折町議会会議規則」(第103条、議場への携

行品)についても協議のうえ、今期定例会にて提案し改正を行った。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

調査特別委員会 委員長 斉藤 謙

令和2年6月22日設置以来、新型コロナウイルス感染症対策等に関して、5項目(医療体制、教育環境、防災(避難所)、福祉政策、産業)について調査・検討してきた。新型コロナウイルス感染症も一時減少傾向が窺われてきたため、当特別委員会活動の最終報告を3月議会で終了としていたが、オミクロン株が急増してきたため、その対応に当てる必要性から、6月定例会を目的に継続することで一致した。

なお、防災の避難所に関して、イコーゼの2階において、全議員でテント等の張り付け等を実施し、自然災害に対する避難所の状況を確認した。

臨時会

第1回 1/13(木)

子育て世帯への臨時給付金

専決承認 12/25

補正予算

一般会計(第6号)

歳入歳出予算総額に、それぞれ8,000万円を追加し、予算総額を65億7,736万7千円とするもの。

《歳入》

子育て世帯への臨時特別給付金事務費補助金 8,000万円

《歳出》

子育て世帯への臨時特別給付金事務費 (18才以下を対象に5万円の追加給付) 8,000万円

一般会計(第7号)

町道除雪費を増額 歳入歳出予算総額に、それぞれ1億3,107万9千円を追加し、予算総額を

67億844万6千円とするもの。

《主な歳入》

新型コロナウイルス接種対策費国庫負担金 490万6千円
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業補助金 1億1,550万円
前年度繰越金 630万円

《主な歳出》

住民税非課税世帯等への臨時特別給付金 (令和3年度分非課税世帯・令和3年1月以降の家計急変世帯へ現金10万円給付) 1億1,844万8千円
新型コロナウイルス感染症予防事業費 (ワクチン3回目前倒し接種) 593万1千円
道路維持管理費 (町道除雪費補正) 630万円

広報広聴

常任委員会

委員長 川名 静子

当委員会は年間を通して「住民参加と情報公開の推進」をテーマに活動をしている。特に住民参加については、必要性、重要性が叫ばれている。議員のみでは聞けない町民の声を、他に先駆け「議会モニター」制度を設置し活動をして頂いている。コロナによる事業制限はあるが、今後も感染対策をしながらコロナ禍にあっても町民の意見、声を聴取する事に努力していく。

情報公開については、議場の様子、議論の内容をより詳しく、スピーディに心掛けながら、今後も議員自らが編集し、多くの方が手に取りページをめくれる議会だよりを編集していきま

一年間ありがとうございました

1の問 年間活動を通して2の問 「議会だより」を読んで

浅野まゆみモニター

1. モニターをしたことで議会に興味を持て、身近な事として捉え、今後も自分の事と注視したい。
2. じっくりと見るようになった。が、内容が盛り沢山過ぎてイヤになるのでは。もっと簡潔に。

大山 豊モニター

1. 議会だよりから議員の考えを知る事ができたし、町についても知る事ができ勉強になった。
2. 過去の議会だよりから変わっていない。時々フォーマットを変えることで変化が付くと思う。

川村滋道モニター

1. 傍聴の感想から各議員の発言、論議力も理解できた。本会議でのやりとりはぜひ皆に聞いて欲しい。

2. 写真を多く使う事は理解できる。賛成・反対の根拠を町民に分かり易く提示すべきである。

佐々木 明モニター

1. コロナ禍でモニターとして、町民の意見・提案を聴取する機会が少なかった。質問から住民の意見を審議に反映させたり、住民と情報を共有しているところが感じられない。

佐久間香子モニター

1. モニターを受けたことでこれまで読まなかった議会だよりをしっかりと読むようになった。各議員の活動も少し分かった。
2. 以前よりも、写真、色共に見やすくなったと思う。

穴戸 守モニター

1. 町民の要望・意見を町政に反映させる議決機関として、議会の果たす役割が不可欠であることを再認識した。議場で傍聴する人が少ない。ネット中継もあるが、増やす取り組みも必要ではないか。議会開会中であることが分からない。ロビーの中継も議会中継だとは気づきにくい。
2. 文字の大きさ等の改善もあり、読みやすくなった。

吉田良崇モニター

1. 議会中継を何人が見ているか、興味がなければ見ないのが現状では。住みよい町にするために取り組んでいる町長、議員を町民として有難く思う。
2. 殆どの人は興味がなく新聞と一緒にいる現状だ。議会の報告ゆえ極端な改善をしなくても良いが、議員それぞれがどんな人か、これからの方々に何を言いたいかなど、知ってもらおうページがあっても良い。

蓬田明美モニター

1. 活動が中々できなかったが、議会の事が知れて良かった。若い方達にも議会の事をもっと知ってもらえればと思う。
2. 「議会だより」の表紙はとても素敵なので、今後も続けて欲しい。読み易く、分かり易く。

渡辺久夫モニター

1. コロナ禍にあつて、桑折地域経済の立案ができなかった。コロナが終息した時には一町民として各イベントの立案をして行きたい。
2. 町議会の皆様、大変良く頑張っている事が分かった。



※「繰越明許費」については、次号に載せます。



時間もオーバーした本音トーク

ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

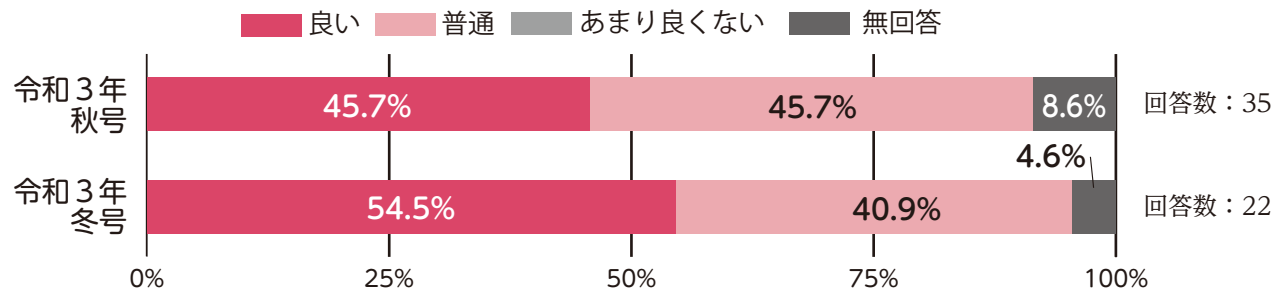
「議会だより」をより多くの町民に読んでいただくため、1年間、アンケート調査を実施しました。今後は、お寄せいただいたご意見、ご感想を参考として編集に役立てていきます。「議会だより」に対して、ご意見・ご感想がある場合は、議会事務局あてFAX・メール等で、「議会だより冬号」に対して、いただいたご意見やご感想をいくつか紹介します。

声	余白を広く取っており、記事が読みやすい。ただし、一般質問のページの余白が気になる。(70代男性)
答	1ページあたりの余白の目安は、20%としておりますが、工夫していきます。
声	写真も大きく読みやすいです。(60代女性)
答	ありがとうございます。
声	載せたいことが、たくさんあると思いますが、思い切って大きな文字にして簡素にしたらどうでしょう。(60代女性)
答	今回、文字を大きくして字数を減らしましたが、内容が伝わるか不安です。
声	雪が降った時は、町の中を雪かきをしてほしいと思います。どこの町でも雪が降った時は、言いたいことがあるようです。(70代女性)
答	3月定例会で「除雪指針」を作成して取り組むとの回答です。
声	まち歳時記を読んで半田山が薬草の宝庫だったとは驚きです。(70代女性)
答	今後とも身近な話題について掲載していきます。
声	町政について解ることができて良いと思う。(50代女性)
答	ありがとうございます。
声	議会だよりは、町民のために大切なたよりである。瞬時に理解できるよう工夫された紙面づくりだ。(余白もある程度必要なコーナーもある)(70代女性)
答	今後ともわかりやすい紙面づくりに努めます。

声	議員質問で個人的にも特に関心のある案件に対しての質疑応答に注目しています。(70代女性)
答	「議会だより」を通して議会内容をより詳しくお知らせしていきます。
声	議員の皆様、いつもご苦勞様です。コロナ感染が広がらないように、対策について、なお一層のご尽力をお願いします。(70代女性)
答	町民皆で、対策を守り気をつけてのり超えましょう。
声	認定保育園の件…狐につままれたような話でシックリきません。(60代女性)
答	今後とも、議論を重ねていきます。
声	議会改革を具体的に何をやっているのか。わからない。(80代男性)
答	今後、議員間で討議し、しっかりと取り組んでいきます。
声	陣屋の杜公園の遊具が外されてから、大分なりますが、その後どうなっているのですか。(80代女性)
答	前回の議会で「歴史観光機能基本構想策定業務委託」の中で検討するとの回答を得ています。
声	議題が多岐にわたる中で、年に1回くらいはポイントをしばった紙面づくりも良いのでは。(60代女性)
答	特集の紙面スペースについては、編集会議で検討します。
声	議会だよりにより若い人の意見を掲載する欄をもうけて議会への関心をもってもらう工夫の必要があると考えるので検討願います。(70代男性)
答	若い人から意見が多く寄せられる、若い人に関心を持たれるような紙面づくりに努めます。

アンケートの集計結果のご紹介(一部)

(質問)「町議会だより」の紙面構成や内容の印象はいかがでしょう?



臨時会

第3回 伊達崎小、昭和大橋復旧に

専決承認

一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額に、それぞれ6,113万円を追加し、予算総額を57億1,213万円とするもの。

《主な歳入》

- ・基金繰入金 4,07万4千円
- ・町債 5,700万円
- 《主な歳出》
- ・災害救助費
- 半壊以上の被害世帯へ見舞金 345万6千円
- ・橋梁災害復旧費(昭和大橋) 2,700万円
- ・小学校災害復旧費(伊達崎小) 3,000万円

工事請負契約

旧伊達郡役所災害復旧保存修理

1. 契約の目的
重要文化財旧伊達郡役所の災害復旧及び保存修理をするため
2. 契約金額

8,855万円

(うち消費税及び地方消費税805万円)

3. 契約の方法

条件付一般競争入札

4. 契約の相手方

住所 本宮市白岩字柳内 687-1

氏名 国分木材工業株式会社

代表取締役 国分久義

5. 工期

令和4年4月8日から11月30日

補正予算

地震対応に約2億円を

一般会計(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ9,038万8千円を追加し、予算総額を58億251万8千円とするもの。

《主な歳入》

- ・災害救助費等負担金 8,943万8千円
- ・財政調整基金繰入金 2,953万2千円
- ・教育施設災害復旧事業債 3,200万円
- ・社会資本整備総合交付金 ▲3,183万6千円
- ・社会資本整備総合交付金 事業債

▲6,150万円

・がんばるふるさと・桑折応援基金繰入金

▲800万円

《主な歳出》

・歴史まちづくり費

▲1億1,408万9千円

(歴史観光交流センター整備当初予算の再考に伴う減額)

地震対応関連事業

被災住宅応急修理支援事業

8,866万5千円

(半壊・中規模半壊27件、準半壊242件)

被災住宅修理支援事業費

1,000万円

(一部損壊世帯への支援修理費用に20万円以上修理に要した世帯へ10万円 100世帯)

道路災害復旧費

730万円

(町道6路線)

小・中学校災害復旧費

6,495万円

(主に伊達崎小他災害復旧に)

地域振興施設災害復旧費

431万円

(町民研修センター、レガール)

消防施設災害復旧費

786万3千円

(修繕3ヶ所、復旧工事8ヶ所)

同意

固定資産評価員の選任

住所 北半田字銀山南10番地

氏名 鈴木 清志

議員辞職

羽根田八千代議員から、

一身上の都合により2月25

日付で、「辞職願」が提出さ

れ同日付・受理された。

お知らせ

議会報告・意見交換会のお知らせ
4月末に町内の感染状況を注視し、開催を予定しています。詳しくは各戸配布のお知らせをご覧ください。

意見書

関する、次の事項について強く要望します。

1. 福島県最低賃金は、毎年年率3%程度を目途に引き上げをはかること。
2. 最低賃金引上げは賃金の多寡と人口移動の相関関係も示されており、労働力確保や人口流出抑制等も多様な政策誘導として取り組むこと。
3. 福島県最低賃金の改定諮問時期は、労働者間の均衡や景気への影響も考慮し、可能な限り早期の発効に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月17日 福島県伊達郡桑折町議会

提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
福島労働局長

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

新型コロナウイルス感染が拡大する中、製造業を中心に、海外サプライチェーンの影響による部品・資材不足による休業、生産調整などを余儀なくされるなど、県内の雇用と労働環境に及ぼす影響は未知数です。

また、福島県では、少子高齢化と人口の減少・流出が進み、震災当時と比較して生産年齢人口は約20万人も減少し、人手不足を補うための外国人労働者数も増加傾向にあります。加えて、障がい者雇用数も全国平均を上回り、パート労働者、契約社員・派遣社員などの非正規労働者は雇用全体の約4割を占めるなど雇用形態の多様化も進んでいます。勤労意欲喚起による生産性向上と社会の格差是正を目的とした、政府の同一労働同一賃金の趣旨に鑑みるとともに、コロナ感染の影響を見据えたセーフティネットの強化策及び人口流出抑制策としても最低賃金引き上げと早期発効は喫緊の政策でもあります。

よって、桑折町議会は福島県の一層の発展をはかるため、最低賃金法の趣旨を踏まえ、福島県最低賃金に



町民の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。
皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。

「議会傍聴」から

・初めて 4名

・1、2回傍聴した 1名

・分からないワードがでてきて、理解できない点が多かった。

(20代女性)

・事前に通告している点について、ともに答弁していない点が多いと感じた。

(70代男性)

・予算についての話から逸らした議論になる部分があった。

(20代男性)

・議員さんは町のことをいろいろな観点から観察して問題点・課題を見つけて、すごいと思った。

(20代女性)

・一生懸命2・3時間にわたる議会をしている議員や町長などを見て、私たちも真剣に選挙をしなければならぬと感じた。

(20代女性)

「総務文教常任委員会傍聴」から

(幼保連携認定こども園)

・大事な問題については、十分な審議をしてもらいたい。

(70代男性)

・利用者や関係職員への丁寧な説明や聞き取りは行政執行に不可欠と思う。

(70代男性)

「議会だより」アンケートから

・毎回読む 3名

・目にした時に読む 7名

「議会だより」を読んで

気づいた点・要望など

・関心がある事しか読みませんが、自分なりに理解したつもりになっています。

(70代女性)

・議会活動状況報告書、文字細かすぎて頑張っても読めません。

(70代女性)

編集後記

災害は忘れたころにやって来る、とは今は昔のこと、昨今は災害は忘れる前に度々起きています。

昨年の地震被害の整理もつかないうちに、3月に再度震度6弱の地震が起きた。開通するばかりになっていた昭和大橋が3か所の支承のボルトが破断し、開通には更に1年余待たなければならないとのことです。

コロナの終息を願いつつ季節の花々を愛でながら平穏な日常を願います。

佐藤榮三

■広報広聴委員会 編集委員

委員長 川 名 静 子 委員 齊 藤 謙
副委員長 鈴 木 隆 志 委員 佐 藤 榮 三

まちの歳時記 ~昭和大橋再度被災~



議会だより

令和4年4月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>